

「災い転じて福となす」「百聞は一見にしかず」

清水 泰生

今回は五輪の発祥の地アテネで行われるアテネクラシックマラソン（以下アテネマラソン）とローマで行われる会議に参加のためギリシャ・アテネとイタリア・ローマに行った。

2016年11月10日の5時に家を出て始発の列車に乗って関西空港へ、9時55分発仁川空港行きのアシアナ空港に乗り、まずソウルに到着、トランジェットでローマへ。アシアナ航空は往復すべて5万2000円台と安く、乗り心地はどうかなと思ったが、思ったより乗り心地が良かった。現地時間19時55分にローマのフィウミチーノ空港に到着。急いでアテネ行きのアリタリア航空に乗り換えた。

ローマフィウミチーノ空港を21時55分発の予定だったか30分ほど遅れて出発。現地時間翌日(11日)の深夜2時ごろアテネ国際空港に着いた。アテネ国際空港で午前7時まで時間をつぶし、そのあと市内行きのバスでギリシャ日本大使館へ向かった。大使館に一番近いエスニキアミナというバス停に降りようと思ったが場内放送がないし、車内の行き先表示も見にくいのでどこで降りたらよいのか分からない。結局、バスの終点のシンタグマまで乗ってしまった。そのあとシンタグマで地下鉄に乗ってエスニキアミナ駅へ、それから地図を見て大使館へ歩いて向かった。

大使館に行く途中の路面は凸凹で非常に歩きにくく歩道もしっかりしていない。車道の端を歩かざるを得なく、その横を車が速いスピードで飛ばす。危なくて冷や汗ものだった。

大使館に到着したが中に入るまで大変。警備室の中に入って、空港並みにボディチェックがあり大使館で献本する本しか大使館図書室に持っていけないと言われた。

日本ことわざ文化学会刊行のことわざの本（共著）と『研究社日本語口語表現辞典』（共著）をトランクの中をあわてて探した。しかし、トランクに入れてあるはずの『郷土のことわざ』の本がない。仕方なく、それなしで大使館に入っていった。うーん、臨機応変に対応できず残念。「後悔先に立たず」だった。ところが後で、これが「災い転じて福」となった。

大使館の文化事業部の方に本を献本。そのあと大使館の方とアテネマラソンやギリシャの日本語教育について話をした。そのとき、マラソンのナンバーカード（ゼッケン）を受け取る会場への交通機関が、私が思っていた(地下鉄で行くものだと思っていた)のと違って、バスで行かなければならないことを知った。うーん、これは大変だと思った。さらに宿泊近辺(地下鉄ビクトリア駅周辺)の治安が悪いと聞いて、さらに青ざめてしまった。

大使館の方の話だと大学での日本語教育はどうも行われていないようだ。しかし、少し

ではあるが語学学校の日本語コースがあるようだ。

大使館を出てナンバーカードを取りにマラソンエキスポが開かれている Faliron というところへシンタグマからバスに乗ろうとしたがバス停が分からずうろろう。「聞かぬは一生の恥」と思い、聞きに聞いてやっとなりバス停へ。バスに乗ったがどこで降りたらよいのか確かではない。バスの運転手にここで降りろと言われて降りたが、降りたところが会場らしきところではなく途方にくれた。しかし、「聞かぬは一生の恥」と思って、人に聞きまくってやっとなり現在地と行くべきところがわかり、マラソンエキスポ会場へ向かった。バス停からエキスポ会場まで誘導が全くない。ランナー泣かせのエキスポだ。

エキスポでナンバーカードや参加賞を受け取ってホテルに向かおうとしたが、どこに行けばいいのかを考えずにトラムに乗ったため、途中でどこにいるのか分からなくなった。1時間迷ってようやくシンタグマに着いた。そして、地図を見ながらビクトリア駅の近くのホテルへ歩いて向かったが、ここがホテルだと思ったところにはホテルらしい看板がない。しかも、日が暮れようとしていてさらにこの周辺は、治安の悪いところ。いろいろな人に聞くがはっきりしない答えやギリシャ語でわけの分からない返事。

途方にくれて門の前に立っているとホテルの管理人に偶然会ってようやく中に入れてもらい、部屋の鍵を貸してもらった。助かった。やっとなり着いた。

この日の私の一日は終わった。

翌日 12 日 11 時ごろホテルを出てゴール会場へ。パナシナイコ競技場を目の前にしたときにはなんとも言えなかった。明日ここをめがけて走ろうと強く心に決めた。競技場に行ったあとすぐにホテルに戻った。日本を出るとき風邪を引いてしまったのと時差ぼけがひどかったので博物館や神殿などの見物は控えた。宿舎に戻ってレースの準備などをした。

次の日 13 日 11 時レース。翌々日の 15 日ローマで国際会議の発表があるので、その日、移動等のため歩きまわれないといけなかったので、スピードを落として足を温存させた。マイペースで走り、そして、「ブラボー」の声援の中をゴール。3 時間 35 分台だった。なんと日本人トップでゴール。第一回五輪会場パナシナイコ競技場をゴールしたときは感無量だった。「百聞は一見にしかず」、ランナーは是非パナシナイコ競技場に足を運んでほしい。

ほとんど足を使っていなかったためゴール会場からビクトリアのホテルまで 30 分歩いて帰り、その日はどこにも行かず研究発表の準備。その日は終わった。

翌日 14 日 12 時 30 分アテネ国際空港を出て 14 時にローマフィウミチーノ空港に着いた。ローマフィウミチーノ空港に到着後どのリムジンバスに乗ればよいのか分からず、うろろう。やっとなり切符を買ったか混雑のため 1 時間待ってやっとなりテルミニ駅行きのバスに乗った。17 時ごろテルミニ駅に着いた。ところがホテルの予約の紙をなくしパニック。ホテルへどう行けばいいのかわからない。パソコンで Wi-Fi につないでメールをあけると地図の入ったホテル予約の控えが出るのだがテルミニ駅の Wi-Fi がつながらない。途方にくれているとインターネットの文字の看板が見えた。中を見てみるとインターネット店だ

ったのでお店に入ってネットを見て、ホテルの予約の控えをプリントアウトにしてホテルに向かった。が、ホテルの周りは治安が悪そうである。「安いものにはわけがある」を字に行っているようだった。ホテルが見つからず周辺をうろうろ。その周辺は、どうも怪しげなグループがたむろしていてその間をよこぎることに…。幸いにも私はラフな格好をしていたので、グループの人は私を気にも留めもしなかった。どうしてもホテルが見つからず近くの店の人に聞くとホテルに入る入り口を教えてくれて一緒に中に入れてくれてホテルのフロントに案内してくれた。助かった。ホテルに無事に到着。外の様子とは違ってホテルの中は快適で落ち着いていて、明日の準備がしっかりできた。

そして、発表日の15日。朝7時にホテルを出て歩いて会場（British School at Rome）へ。会場は、公園の中にある。緑多いところであった。10時に「ABOUT THE NAMES OF RUNNING MEETS」というタイトルで発表。発表も無事終わった。次の発表を聞いてみると何とことわざの発表ではないか。Rusudan Dolidze 先生 Manana Rusieshvili 先生の「CROSS-LANGUAGE EQUIVALENCE AND CULTURAL SIMILARITY IN PROVERBS」というタイトルの発表であった。確か大使館に渡すことのできなかつたことわざの本がある。それを渡そうとふと思っ、発表後のわずかな開いた時間に Manana Rusieshvili 先生に本を献本した。臨機応変に対応ができてよかったのと「災い転じて福となす」などのことわざが当てはまるかなとふと思っ。

ことわざの発表が終わり、私は発表会場を後にしてその会場から200m先にある国際交流基金ローマ日本文化会館へ向かった。日本語専門員大谷先生に1年ぶりにお会いできると思っっていたがナポリに出張しており残念ながらお会いできず残念。しかし、教育助手の印藤先生とお話できて良い時間を過ごすことができてよかった。

授業の教室、図書館、廊下に掲示してある作文など拝見でき、印藤先生だけでなく非常勤の先生ともお話できて良かった。

アテネとは違いローマの日本文化会館は多くの日本語の授業あり充実しているようだった。

1時間半ほど話をして、そのあと日本文化会館を出て、徒歩でテルミニ駅にある空港行きのバス停へ向かった。ちょっと道に迷って予定より30分ほど余計かかった。発表会場へ行く時間（行きの時間）も入れて計2時間30分ほど歩いたが足のほうは全くいつもと変わらなかつた。3月のソウル国際マラソンの時は、少し筋肉痛があつたが、今回は全く何もなかつた。

道に迷ったとき英語で尋ねたがアテネと違い返事は日本語という人がいて日本人観光客がかなりきていることを物語っていた。テルミニ駅でリムジンバスに乗りフィウミチーノ空港に向かい、到着。19時55分発のアシアナ航空でソウルに向かった。そしてトランジェットをして翌日16日20時50分に関西空港についた。

今回「一難去つてもう一難」が多かつたが、何とか無事帰って来ることができた。そして今までで一番印象に残るマラソン、研究旅行となつた。やはり、「百聞は一見にしかず」、

アテネ、ローマは本当に歴史のある都市であった。でも忙しくて博物館等に行っていない。
「善は急げ」近いうちアテネ、ローマを訪問できればと思っている。



スタート地点、マラトンの丘



パナシナイコ競技場



国際会議の会場（British School at Rome）



国際交流基金ローマ日本文化会館

ローマの国際会議のプログラム
<https://rome2016.sched.com/>